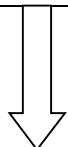
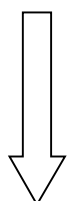


順序数と計量数

数えようとするものの集まりを集合として明確にとらえる。



順番を調べる対象に、順に数を対応させていく。

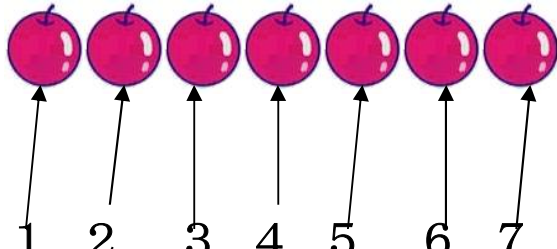


・数える対象に「いち、に、さん、し・・・」という数詞を順番に1対1に正しく唱えて対応させていく。

対応が完成したとき、

1. 順番を知ることができる。(順序数)

2. 最後の順番を表す数はその集合の要素の個数を表す数と一致する。(計量数)



「いち、に、さん、し、ご、ろく、しち」(順序数)

「7番目まで数えたから、全部で7個あります。」(計量数)

十進位取り記数法では、

「順序数」と「計量数」が一致しているから計算がしやすい。